

「地図豆」の地図を広げて街歩き

61-1 世田谷ぐるっとひとめぐり (距離約 4.5km)



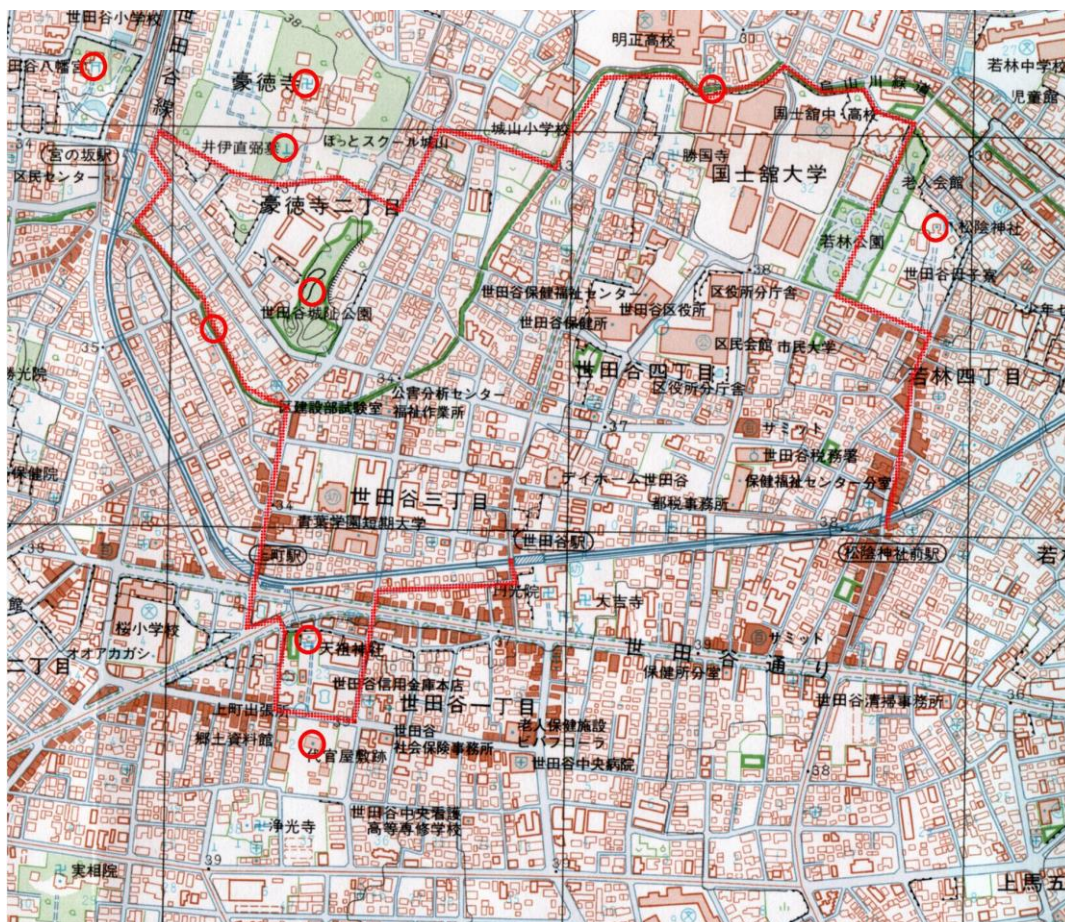
世田谷大場代官屋敷

ボロ市で有名な世田谷通り沿いにある大場代官屋敷などをたどる短い町歩き。帰りに三軒茶屋散策するのもいい。

【道順】

00 東急世田谷線松陰神社前駅→01 松陰神社→02 桂太郎墓→03 若林公園→04 烏山川緑道→05 勝国寺→06 烏山川緑道品川橋跡→07 豪徳寺→08 豪徳寺井伊家墓地→09 豪徳寺招き猫→10 宮の坂駅玉電→11 世田谷八幡神社→12 世田谷城址→13 烏山川緑道城向橋跡→14 世田谷天祖神社→15 世田谷大場代官屋敷→16 東急世田谷線世田谷駅

ルートマップ



【街歩き解説】

00 松陰神社前駅：明治維新の精神的指導者であった吉田松陰を祀る松陰神社前駅から、世田谷周辺めぐりを始める。

01 松陰神社：吉田 松陰は長州藩士で、思想家、明治維新の精神的指導者・理論者として知られている。彼がした松下村塾では、久坂玄瑞や高杉晋作、伊藤博文、山縣有朋などが教育を受けた。松陰神社のある場所は、かつて長州藩主の別邸があったところ。

松陰が安政の大獄で刑死した4年後の文久3年（1863年）に高杉晋作など松陰の門人によって小塚原の回向院にあった松陰の墓が当地に改葬された。明治15年（1882年）11月21日、門下の人々によって墓の側に松陰を祀る神社が創建されたもの。寄進された26基の燈籠には伊藤博文、木戸孝正、山縣有朋、桂太郎、乃木希典、井上馨、青木周蔵などの名前が刻まれているという。寄進された26基の燈籠にも注目する。



松陰神社、松下村塾

02 桂太郎墓：松陰神社に隣接して、元総理大臣桂太郎の墓がある。総理臣在任中には、日英同盟締結や日露戦争勝利があった。

03 若林公園：都市公園といったものだが、松陰神社に隣接しているためだろうか意外に緑が残る。

04 烏山川緑道：南に崖を見せる烏山川は、目黒川の支流のひとつ。世田谷区北烏山にある高源院の弁財天堂の池が源流の1つである。1970年代以降、ほぼ全面的に暗渠化され、下水道となり、暗渠部は「烏山川緑道」となって、要所に橋の欄干が残こされている。

05 勝国寺：勝国寺のお不動さんは、目が金であるため目金不動の名があるという。

ちなみに五色不動の場所は、目黒不動 - 瀧泉寺（東京都目黒区下目黒）/目白不動 - 金乗院（東京都豊島区高田）/目赤不動 - 南谷寺（東京都文京区本駒込）/目青不動 - 教

学院（東京都世田谷区太子堂）/目黄不動 - 永久寺（東京都台東区三ノ輪）/目黄不動 - 最勝寺（東京都江戸川区平井）とか。

06 烏山川緑道品川橋跡：烏山川は、1970年代以降、ほぼ全面的に暗渠化され、下水道となり、暗渠部は「烏山川緑道」となっている。

07 豪徳寺：天正18年（1590年）の小田原の役で廃城となった世田谷城の主要部だったといわれる。文明12年（1480年）、世田谷城主吉良政忠が、伯母で頼高の娘である弘徳院のために「弘徳院」と称する庵を結んだことに始まるという。

寛永10年（1633年）彦根藩主井伊直孝が井伊氏の菩提寺として伽藍を創建し整備し、井伊家の墓所がある。もちろん井伊直弼の墓もある。そして、井伊直孝が雷雨を避けた時猫に招かれて、ここにお世話になった経緯から招き猫発祥の地として伝えられる。

安政の大獄で刑死した吉田松陰（松陰神社）と安政の大獄を指揮したことで暗殺された井伊直弼のお墓（豪徳寺）がごく近いところにあるのも何かの因縁か。



豪徳寺・豪徳寺で

08 豪徳寺井伊家墓地：安政の大獄で刑死した吉田松陰（松陰神社）と安政の大獄を指揮したことで暗殺された井伊直弼のお墓（豪徳寺）がごく近いところにあるのも何かの因縁か。

09 豪徳寺招き猫：小田原の役で廃城となった世田谷城の主要部だったといわれる豪徳寺は、招き猫発祥の地として伝えられる。

10 宮の坂駅玉電：東急世田谷線は、東京都世田谷区の三軒茶屋駅と下高井戸駅を結ぶ東京急行電鉄（東急）の軌道線。かつては、玉川電気鉄道（玉電）の支線だった。宮の坂駅には、世田谷線の古い車輛が展示されている。これは玉電から江ノ電に譲渡され、その後里帰りしてきたもの。

11 世田谷八幡神社：奉納相撲の勝敗によって来年の豊作・凶作を占い、年の豊作を感謝したため、境内には立派な土俵や力石がある。今でも毎年秋の例祭（9月15日）には東京農業大学相撲部による奉納相撲が行われている。

12 世田谷城址：世田谷城跡は、世田谷に本拠を置いた奥州吉良氏によって築かれた平山城の跡。経堂台地から南に突き出た舌状台地上に占地し、城域の三方を取り囲む様に麓を烏山川が流れ天然の堀を成していた。都内には渋谷城（渋谷区渋谷金王八幡宮あたり）、志村城（板橋区志村熊野神社あたり）、稲村城（北区赤羽）などがある。

13 烏山川緑道城向橋跡：城向橋跡も含めて橋跡には説明する標杭があるのみ

14 世田谷天祖神社：世田谷天祖神社のある世田谷のボロ市は、毎年12月15・16日、1月15・16日の4日間開催される430年以上にわたる歴史のある伝統の市。



世田谷城址・世田谷大場代官屋敷

15 世田谷大場代官屋敷：世田谷のボロ市の開催場所近くにある近江彦根藩世田谷領の代官であった大場代官屋敷の表門と母屋は、民家としては東京で最初に国の重要文化財に指定された。

大場氏は、大もと吉良氏の有力な家臣で、天正18年（1590）主家が没落した後は世田谷に土着。寛永10年彦根藩世田谷領が成立すると、代官役に起用され、明治4年（1871）の廃藩置県まで代官職を世襲した。その大場氏は居宅を役宅として代官の執務を行なった。居宅を役宅として代官の執務を行ない、明治4年（1871）の廃藩置県まで代官職を世襲した。

隣接して世田谷区立郷土資料館もある

16 世田谷駅：なんとんでもボロ市の世田谷駅で終わる。

+ * * * + オフィス 地図豆 yamaoka mitsuharu + * * * +